

川内村若者定住化促進対策条例施行規則の奨学金返還支援金の支給に関する要綱

**第1条 目的**

川内村若者定住化促進対策条例の規定による奨学金返還支援金の取り扱いについての取り扱い要綱とする。

**第2条 事業内容**

川内村奨学資金の奨学生で、奨学金の返還者に条件を満たす者にその返還金額に応じて支援金を交付する。

**第3条 対象及び条件**

- (1) 川内村に住所を有し、川内村奨学資金の返還者で、次の条件を満たすこと。
  - ア 前年度において川内村に住所を有していた者
  - イ 前年度の年間収入額（税等控除前）が最終学歴による基準を超えないこと
  - ウ 前年度の奨学資金の返還が計画とおり終えた者又は一括返還をした者
  - エ 村民税等の滞納がなく完納されている者。
  - オ 地域住民として居住し、地域の事業・イベントに貢献していること。

**第4条 申請様式及び交付**

- (1) 本人の申請（申請様式1）により、上記の条件を確認し、交付決定通知（様式2）によりこれを交付する。

**第5条 支援金額**

- (1) 前年度の住民期間の月数に応じた返還金額を支援金として支給する。
- (2) 一括返還時は、5年間での分割支給とし、支給条件確認のため年度ごとの申請とする。その返還残年数が5年以内の時はその残年数とする。

第6条 条例第6条の収入基準

卒業区分	基準額 前年度の年間収入額（税等控除前）	備考
高校卒程度	317万円未満 * 1	* 直近の人事院の職種別民間給与実態調査から毎年算出した額 * 1 平成28年4月1日による基準額
短大・専門学校卒程度	351万円未満 * 1	
大学卒程度	386万円未満 * 1	

\* 人事院の事務・技術系職種の係員の平均を算定に使用

- 1) (平均月額給与－時間外手当－通勤手当) \* (12月＋特別給の支給割合)  $\textcircled{A}$   
 (時間外手当＋通勤手当) \* 12月  $\textcircled{B}$   
 $\textcircled{A}$  +  $\textcircled{B}$  の額を万単位以下切り捨ての額

- 2) 短大・専門学校卒程度は、高卒程度と大卒程度の中間の額

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

申請様式 1

**奨 学 金 返 還 支 援 金  
支 給 申 請 書**  
( 一括返還時の5回の内 回目 )

年 月 日

川内村長 様

**申請者** 住所：川内村大字 川内字

氏名：

印

私は、この度下記のとおり前年度の奨学金を完納しましたので、必要書類（住民票・納税証明書）を添付し、奨学金返還支援金の支給を申請いたします。

記

(ふりがな) 氏名 (生年月日)	( 年 月 日生 ) 最終学歴 高卒、短大・専門、大学		
前年度 返還額	平成 年分	円	
前年度の収入額 (税等控除前)	平成 年分	円 (要綱の基準を超えてないこと)	
返還納入方法	分割・一括 ( 返還残年数 年 )		
住民期間	年 月 日～ 年 月 日	月数	
支給申請額 ( 返還額 )	円 ( 一括返還時の 回目 )		
総額 _____円 一括返還時の支給予定額 (年度毎)	1回目 (本 年)	円	
	2回目 (平成 年)	円	
	3回目 (平成 年)	円	
	4回目 (平成 年)	円	
	5回目 (平成 年)	円	

**振込先**

振込先機関・支店名	.	預金種別	①当座・②普通
口座名義人		口座番号	

\*区長の確認印を受けてから申請願います。

<b>地域貢献</b>	申請者は、行政区の行事・イベント等に参加しており、地域への貢献を確認します。	行政__区	確認印	年 月 日
		区長氏名		
項 目	確 認 者 氏 名	確認印	確認月日	
住民票			年 月 日	
納税証明書			年 月 日	
返 還 額			年 月 日	

\*添付書類 1) 住民票 2) 納税証明書 を添付ください。

様

双葉郡川内村長

印

### 奨学金返還支援金決定通知書

年 月 日付で支給申請のあった奨学金返還支援金について次のとおり支給することに決定したので通知します。

記

奨学金返還支援金 \_\_\_\_\_ 円也

【申請書に記載された指定口座に振り込みいたします。】

(留意事項)

\*偽りその他不正行為により支援金を受けた場合については、支給した金額又は一部を返還していただくことがあります。